

福祉懇談会（金津地区）	出席者
	金津コミ協：青木会長、今井副会長、齊藤副会長 金津地区社協：渡辺委員長、阿部副委員長、岡部会計 金津地区民児協：吉田会長、太田副会長、長谷川会計 秋葉区社協：横山事務局長補佐、藤田、時田
日時：令和4年8月2日（火）10:00～11:30	
会場：金津地区コミュニティセンター	

		評価・課題	取り組み	
見守り	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> ・あい愛訪問や友愛訪問など連携して取り組んでいるが、地区全体に広がっていない。 ・見守りが必要な人を訪問し、悩みごとなどは行政等につないでいる。 ・見守りの対象になることを拒む方もいて、声かけを工夫した。 ・訪問を続けることで気持ちを通じ、困りごとなど個人的な話をしてくれるようになった。 ・自治会、町内会との連携が大切である。 	<ul style="list-style-type: none"> ■あい愛訪問 <ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの周知 ・連携 （自治会・町内会、民生委員） ■友愛訪問 	地区社協 民生委員
	子ども	<ul style="list-style-type: none"> ・ぴいす金津の取り組みも自治会町内会の協力が必要である。 ・わんわんパトロールのメンバーも増えてきている。 ・防災意識が向上し、不審者が減った。 ・児童の登下校をセーフティスタッフと一緒に見守っている。 ・防犯、交通、災害の観点から見た地域の危険個所を点検しまとめたものを保育園、小学校、中学校に報告している。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ぴいす金津 ■わんわんパトロール ■児童の見守り 	コミ協 コミ協 民生委員

		評価・課題	取り組み	
見守り	地域	<ul style="list-style-type: none"> 割町や古津でオレンジキャップを活用いただき、まとまった人数で被っていると目立っていて素晴らしい。 町内ごとに見守り隊ができるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■ながら見守り ・ジャンパーを作成し、取り組みを強化する 	地区社協
	全体	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会で見守りについてわからないところがあるのではないか。 見守りの目的を整理し、次なる行動につなげるためにも、自治会・町内会長、地区社協、民生委員の情報交換があるといい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■見守り活動の推進 ・広報誌や常任委員会での活動の周知と連携 	
居場所	高齢者	<ul style="list-style-type: none"> 町内ごとに茶の間が立ち上がってほしい。 金津地域全体に茶の間が広がっているので、情報交換を年1回やっていきたい。 高齢者だけを対象とするのではなく、対象を限定しないことで顔がみえるつながりづくりを目指している。 高齢者だけだと人数が減ってきているので、他のお茶の間のやり方を聞くと参考になる。 コロナ禍でも感染対策をして、毎月趣向を変えて開催している。 高齢者に役割を持ってもらうことで、参加人数も減らずに継続出来ている。 個別に声かけをして誘うことで見守りにもなっている。 老人クラブでも茶の間をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■地域の茶の間いっぴく ■助成金 ■茶の間の情報交換 	地区社協
	子ども	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂も検討したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ■子ども食堂の検討 	地区社協

		評価・課題	取り組み	
健康	健康増進	<ul style="list-style-type: none"> 健康増進の意識の向上につながる各事業を実施した。 日曜に開催し、親子で参加できる工夫をした。 	<ul style="list-style-type: none"> ■安全運転サポート講座 ■作品展 <ul style="list-style-type: none"> 健康増進の意識向上 ■ラジオ体操講習会 	<p>コミ協</p> <p>西古津自治会</p>
安心・安全	防犯	<ul style="list-style-type: none"> 通学路の点検をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ■防犯カメラ設置 <ul style="list-style-type: none"> 点検を行っていく 	<p>コミ協</p>
	防災	<ul style="list-style-type: none"> コミ協の防災訓練には全町内が参加し、連携が取れている。 避難行動要支援者名簿は限られた人しか共有できないが、災害時支援のために工夫して個人情報共有できるとよい。 災害時の民生委員の対応について検討している。 ハザードマップが活用されず、自分の地域を把握していない方が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ■防災訓練 <ul style="list-style-type: none"> 学校と連携 ■講演会 ■避難行動要支援者への対応 	<p>コミ協</p> <p>コミ協 民生委員</p>
育成・連携	後継者	<ul style="list-style-type: none"> 人材の確保が難しく、役員のなり手がいない。 1年で町内の役員が交代するところが多く、引継ぎはしているけれど、詳しいところまでは分からない。 		
	自治会町内会	<ul style="list-style-type: none"> 支え合いをするためには近所づきあいが全てだと思いが良い方法論がなく、そこを支援してほしい。 隣組の発想がない世代をどうしていくかが気になるころである。 	<ul style="list-style-type: none"> ■支え合いの支援 	

		評価・課題	取り組み	
育成・連携	自治会 町内会	<ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会に福祉を専門としている人は少なく、どこまで協力体制が取れるものか。 コミュニティ活動（祭りや防災訓練など）をしっかりと行うことで人間関係が構築されるので、知恵と工夫で前向きに考える。 		
	連携	<ul style="list-style-type: none"> 声を出した人は良いが、声を出したくても出せない人の声なき声を吸収したい。 少子高齢化が進んでおり、高齢者福祉、学校や地域、各専門部が一体となり、やるべきことは何かを考えていく。 自治会よりも老人クラブが主体となっているところがあるので、連携の中に老人クラブも入れたほうが良い。 	■連携 <ul style="list-style-type: none"> 自治会・町内会長、コミ協、民生委員、地区社協、老人クラブで情報共有 	